

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

「令義解」と三偉人の荻野吟子（文・野口泰宣）



今回紹介する資料は「令義解」と題された古書を紹介します。「令義解」とは、平安時代に作られた法律である「律令」の解説書で、淳和天皇の命により右大臣清原夏野ほか十一人の手によって編さんされました。「律令」の「律」は刑法、「令」はそれ以外の法律を意味します。「律令」は中国から伝えられたもので、日本社会の実情とは合わない部分が多く、実際に政治を運営する者たちの統一見解を示すテキストとなったのが本書でした。本書は十巻(十冊)で構成されています。本書が完成したのは天長十年(八三三年)のことでした。それから江戸時代後期までには凡そ千年近い長い時間が経過し、「令義解」もその一部が失われてしまいました。そんな中、塙保己一と和学講談所の弟子達は、関連する諸書を調査収集して、「令義解」全十冊を復元し刊行したのです。保己一の行った仕事は後に大きな役割を果たすこととなります。その一例として、妻沼(現熊谷市)出身の

女医一号荻野吟子の例があります。吟子は埼玉県三偉人の一人で、女医一号として知られています。吟子は女医試験を受けようとした時、明治政府から前例がないとして許可してもらえませんでした。しかし「令義解」に女医の前例が載っていることを知り、吟子は医師試験を受けることができました。これは保己一が復元し刊行した「令義解」に医疾令という法律があつて女医の規定が記されていたのです。保己一は「世のため後のため」に仕事を行いました。この一例はまさにその通りとなった具体例ではないでしょうか。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会の会員を募集しています。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では塙保己一先生の遺徳顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。会員みなさまの日頃のご協力に感謝申し上げます。

塙先生顕彰推進のため今年度も会費の納入につきまして、よろしく願いいたします。

みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

年会費 個人会員 一口 千円、 賛助会員(団体) 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館(セルディ) 児玉公民館(アスピアこだま内)で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内

所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

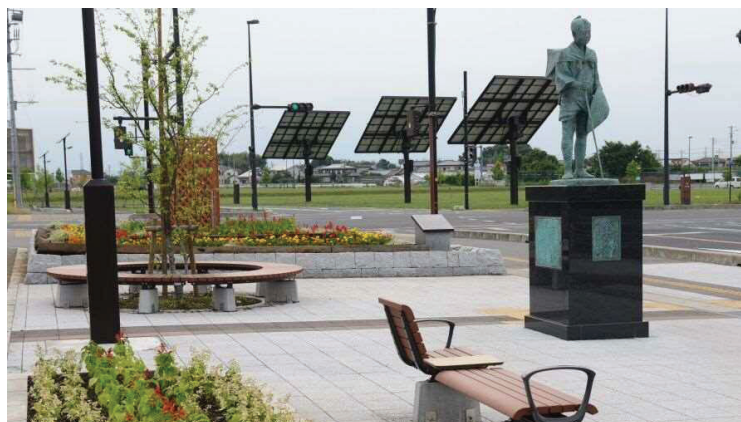
※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第29号

平成29年9月号



写真左上：旅立ちの朝公園 写真右上・下：群読劇「塙保己一物語」公演の様子（平成29年8月11日）



ごあいさつ

日中の暑さは盛りながらも朝夕には虫の声が心地よい季節となりました。

みなさまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。当顕彰会に対する日頃のみなさまのご協力に厚く感謝申し上げます。

さて、塙先生の遺徳顕彰に関する最近のニュースとしましては、埼玉県立児玉白楊高等学校環境デザイン科のみなさんが上越新幹線本庄早稲田駅北口にある「塙保己一旅立ちの朝公園」の花壇にサルビアやケイトウなどを植えていただき駅を利用される方をなごませてくれています。また、昨年につき本庄地域で市民の手づくりによる「群読劇塙保己一物語」が本庄市民文化会館大ホールに於いて開催され、顕彰会としても後援をさせていただきますでしたが、大変、盛況な催しとなりました。

これからは塙先生没後200周年に向け、さらなる顕彰事業を推進するための議論を重ねてまいりたいと思いますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田 信解

塙先生の遺徳を偲ぶ 遺徳顕彰祭にぜひご参加ください

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では毎年、塙保己一の命日である9月12日に遺徳顕彰祭を行っています。この催しは、祭壇に飾られた塙保己一の遺影に対し、その遺徳を偲び来場者全員で菊の花を捧げるものです。

本年も下記のとおり開催いたします。皆さまのご来場をお待ちしております。会員以外の方もご参加いただけます。

ぜひご参加ください。(参加費は、ありません。)



昨年の顕彰祭の様子



- 日時** 9月12日(火)
午後2時 開式
(午後1時30分から受付)
- 内容** 主催者・来賓による献花
来場者全員による献花
- 講演** 講師 堺 正一氏
講演 「埼玉の三偉人から学ぶ」

第11回塙保己一賞

日時：12月16日(土) 午後1時～

場所：児玉文化会館 セルディホール

郷土が生んだ偉人「塙保己一」のように、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている方や障害者を献身的に支援している方を表彰する「第11回塙保己一賞表彰式」を開催します。(埼玉県主催・本庄市共催)



第10回塙保己一賞コンサートの様子

○平成29年度顕彰会総会を開催しました

5月27日(土)に平成29年度総会を開催しました。議題である28年度事業・決算報告や29年度事業案・予算案の審議・承認が行われました。

また、記念講演は、根岸久氏に『群読劇塙保己一物語よもやま話』と題して講演をしていただきました。



○世界遺産登録3周年記念フェスタに参加しました

6月18日(日)に「世界遺産登録3周年記念フェスタ」が伊勢崎市境島村旧境島小学校校庭ほかで開催され、事業部会役員が参加し、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会のパンフレット等を配布して啓発活動を行いました。



塙保己一先生の讃歌(その二)

文・顕彰会事業委員 根岸 久

郷土の偉人である、塙保己一先生を讃えた歌が数曲作られています。

制作年代は不詳ですが、その讃歌を紹介します。

塙保己一

一、徳川中期の 北武蔵

保木野の里に 生まれしは

世にも稀なる 天才児

幼少の頃 盲しいしが

江戸に出て来て 勉学し

古書古文を 暗誦す

まことに非凡 塙保己一

群書類従の 大書成る

その業績を 仰ぎみて

万人ひとしく 崇敬す

学問の神 塙保己一

大久保善護作詞

北代谷 晃作曲

(実相寺誌より)

二、盲人の職 鍼あんま

不得手に悩み 行きづまり

死を思いたる 牛が淵

恩師雨富の 許しえて

学問一途に 進みならば

万巻の書に 通曉す

これ神の業 塙保己一

一、夢果てしなく

神流のながれ

真つ暗闇の時の流れに

さあ、漕ぎ出そう

あなたが居なければ

歴史は開かない

世界は闇の中

ああ、保己一

今、何処

二、保木野の声を

背中に背負って

こだまが響く和学の道へと

さあ、進もう

あなたを待つてる

版木の山桜

この道は果てしない

ああ、保己一

世のために

三、萌える希望と

自分を信じ

大きな仕事成し遂げた

その思い

心の眼で道を

切り開く 後の世は

あなたを待っている

ああ、保己一

永遠に

この曲は、二〇一五年八月、塙

保己一記念館を杉山茂生氏と秋山

清英氏が訪れ、塙保己一先生に感

銘を受け、出来上がった曲だそう

です。

杉山茂生・秋山清英作詞

杉山茂生作曲

◎お願い

顕彰会では、塙保己一先生に関する資料の提供をお待ちしています。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
事務局「セルディ内」
電話七二一八八五一



平成29年6月23日に Google のトップ画面に「塙保己一先生」がアップされました。